

## 締結式開催日の決定

令和6年8月28日付けプレスリリースで、締結式の開催延期についてお知らせしておりましたが、開催日が決まりましたので、ご案内いたします。

# PRESS RELEASE



令和6年9月3日  
愛媛大学

## 国立大学法人愛媛大学大学院地域レジリエンス学環と イツモスマイル株式会社が連携協定を締結

### <締結式を実施>

このたび、国立大学法人愛媛大学大学院地域レジリエンス学環とイツモスマイル株式会社は、相互の連携を強化し、教育活動の活性化、学術研究の発展、地域の産業振興や課題の解決、そしてレジリエンス向上を目的として、連携協定を締結します。

つきましては、下記のとおり調印式および記者会見を実施しますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

#### 記

日時：令和6年9月17日（火） 14時00分～

場所：愛媛大学 E.U. Regional Commons（ひめテラス）1階  
地域交流スクエア

会見者：愛媛大学大学院地域レジリエンス学環 学環長 宇野 英満  
愛媛大学大学院地域レジリエンス学環 副学環長 森脇 亮  
イツモスマイル株式会社 代表取締役 大田 仁大

●取材いただける場合は、9月12日（木）15時までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。

#### 本件に関する問い合わせ先

（担当部署）学部・大学院統括チーム  
（地域レジリエンス学環担当）

（担当者名）窪田

TEL：089-927-9177

Mail：resilience@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料9枚（本紙を含む）

# 愛媛大学大学院地域レジリエンス学環(修士課程)は、「研究科等連係課程制度」を活用した分野横断型の新しい教育課程です。

## 地域レジリエンス学環について

愛媛県を含む四国地域は、近年の地球温暖化により頻発化する豪雨や周期的に動く南海トラフによる大地震等の自然災害リスクに曝されています。また、少子高齢化が全国で最も早く進んでいる地域の一つです。社会活動の中断を迫られるような大きな変化の中でも、柔軟かつしなやかな対応ができ持続可能性のある地域社会づくりは喫緊の課題です。このためには、災害に強い強靱な社会基盤整備を進めていくだけでなく、人と自然、人と社会のつながりを通して、誰もが住みがいのある地域を築くために、地域のこれまで、そしてこれからを展望し、事前に策を打っていける人材の育成が求められています。

このような状況を踏まえて、大学のもつ資源を結集した新しい形の大学院「地域レジリエンス学環(修士課程)」を設置いたします。本学環は、文部科学省が法令で定める「研究科等連係課程制度」を活用して、本学の人文社会科学部研究科、教育学研究科、理工学研究科、農学研究科、医学系研究科の5研究科の協力により設置するもので、本学では令和4年4月に設置した大学院医農融合公衆衛生学環(修士課程)に続き2つ目となります。

本学環では、既存の学問分野を横断的、複合的に学び、実践的能力を身に付けるための教育を行います。これにより、専門枠や実務・学術領域を超えて人と人、知と知をつなぎ、「自然」「インフラ」「産業」「歴史」「文化」「コミュニティ」からなる地域資源を育みながら、持続の可能性を見据えて課題解決できる人材を育成して地域の幅広い分野へ輩出し、自然災害や少子高齢化等の急激な社会情勢の変化に対し、地域社会を存続させる力の向上、すなわち「地域のレジリエンス向上」に寄与することを目指します。

## 教育課程等の概要

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実験・実習
基盤科目	SDGs 概論	1前	1		○		
	レジリエンス学概論	1前	1		○		
	データサイエンス概論	1前	1		○		
	デジタルエスノグラフィ-実習	1前	1				○
	サーベイメソッド・プログラム評価法	1前	1		○		
	プロジェクトマネジメント概論	1前	1		○		
小計(6科目)		—	6	0			—
地域理解	人類学特論	1後		1	○		
	環境情報マネジメント	1後		1	○		
	環境経済学	1後		1	○		
	自然社会環境論	1後		1	○		
	コミュニティ心理学特論	2前		1	○		
	公共ガバナンス論Ⅰ	2前		1	○		
	公共ガバナンス論Ⅱ	2前		1	○		
	地域マネジメント論Ⅰ	1前		1	○		
	地域マネジメント論Ⅱ	1後		1	○		
	海域社会論	1後		1	○		
	ミクロ経済学	1前		1	○		
	景観まちづくり	1後		1	○		
	専門科目	センシングと応用	1前		2	○	
ICT/データサイエンス/AI 特論		1後		2	○		
知能的食料生産科学特論		1後		2	○		
災害情報学		2前		1	○		
バイオインフォマティクス特論		2前		1	○		
防災・減災工学		1前		2	○		
危機管理と事前復興・事業継続計画		1後		1	○		
リスクコミュニケーション		1後		1	○		
災害と福祉法政策		1後		1	○		
災害医療と地域包括ケア		2前		1	○		
国際防災戦略と危機対応	2前		1	○			
小計(23科目)		—	8	19			—
実践科目	地域協働インターンシップⅠ	1前		1			○
	地域協働インターンシップⅡ	1後		1			○
	地域レジリエンス PBLⅠ	1前		2			○
	地域レジリエンス PBLⅡ	1後		2			○
	地域レジリエンス PBLⅢ	2前		2			○
小計(5科目)		—	7	1			—
特別研究科目	特別演習Ⅰ	1前		1			○
	特別演習Ⅱ	1後		1			○
	特別演習Ⅲ	2前		1			○
	特別演習Ⅳ	2後		1			○
	小計(4科目)		—	4	0		
合計(38科目)			—	25	20		—
学位又は称号			修士(学術)				
卒業要件及び履修方法							
本課程に2年以上在籍し、所定の単位数を30単位以上(基盤科目6単位、実践科目7単位以上、専門科目13単位以上、特別研究科目4単位)を修得することに加え、学位論文または特定の課題についての研究成果を提出し、審査及び最終試験に合格することとする。							

教育課程は、「基盤科目」「専門科目」「実践科目」「特別研究科目」の4つの科目群で構成し、地域をフィールドとしたレジリエント社会の構築について実践的かつ分野横断的な教育プログラムを展開します。

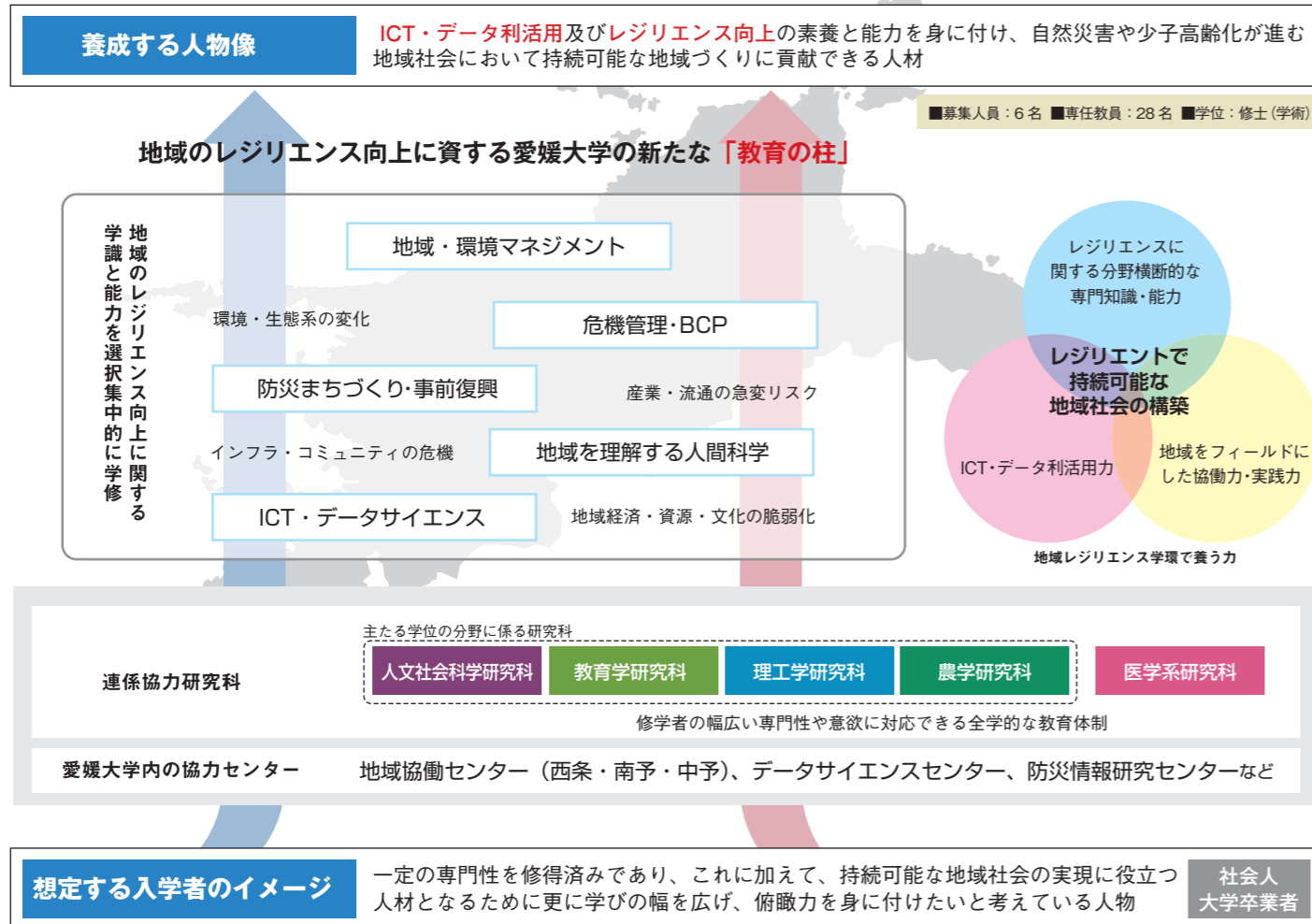
- 基盤科目** レジリエントな地域社会を実現するための基礎的な素養を学修
- 専門科目** 地域理解、ICT・データ活用、レジリエンス向上のための分野横断的な専門学識を深化
- 実践科目** プロジェクト形式の実習における「分野横断指導チーム」の複眼的・俯瞰的指導を通じ、地域をフィールドにした協働力、実践力を涵養
- 特別研究** 研究計画書の作成、研究計画に基づいたデータ収集・分析、研究論文の執筆・発表について学修

## 修了後の活躍分野

公務員(国、自治体)、民間企業、NGO/NPOなどの様々な業界における以下のような役割が想定されます。

- リスクと地域発展性をデータに基づいて科学的・数量的に評価しつつ、持続可能な防災まちづくりを立案
- データ・AIを活用しつつ多様な取引先との協働により柔軟性のあるBCPを策定・実践し、就職先企業のレジリエンス向上に貢献
- 複数のコンピテンスを活かして、環境や福祉などと連携した防災を通して地域参画型のまちづくりの支援および実践を先導
- 農家や水産業者のニーズを丁寧に汲み取りながら、ロボットやICTの活用、他業種との連携促進等の支援を通して、自然災害や気候変動に対してしなやかな農水産業の実現に貢献
- 地域の魅力の発見、多様な人々との人間関係を深めることができる能力を活かして、地域コミュニティの魅力を最大化しつつ、地域防災力を向上させていく事業を地方において展開
- 地域住民等のステークホルダーとの対話を通して、ICTを駆使した展示物とその活用方法を教育効果の観点から検証・改善し、防災に関する効果的な学習環境を開発

## 地域レジリエンス学環の概要



愛媛大学地域レジリエンス学環  
イツモスマイル株式会社

協定締結について

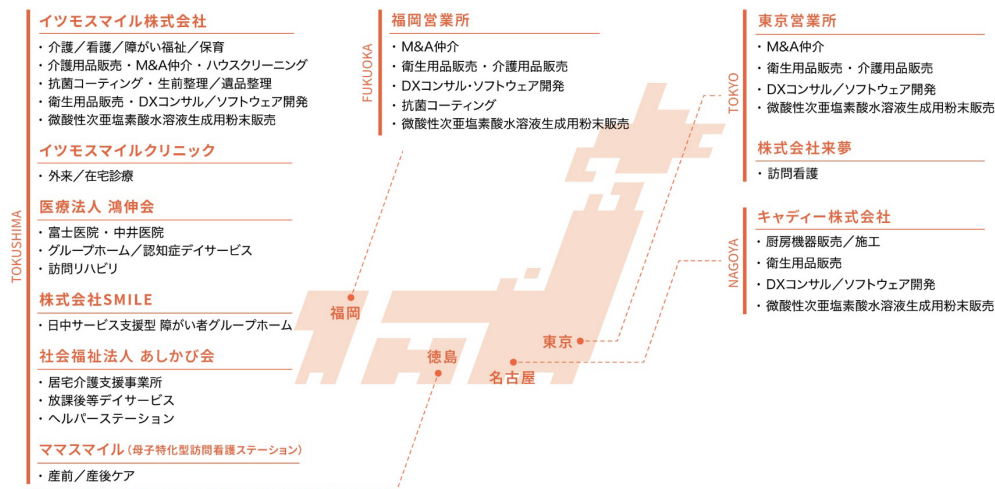
2024.08

介護・医療・看護・障がい福祉・保育事業を中心に、多様なソーシャルビジネスを展開  
 「社会課題の解決にデジタルで貢献する」ことをミッションに掲げ  
 2019年に「デジタルソリューション事業部」を創設、様々な課題解決へ挑戦。

## 会社概要

会社名	イツモスマイル株式会社
営業所	本社 〒770-0022 徳島県徳島市佐古二番町5-11 東京 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2-22-11 福岡 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町8-13 1F
代表者	代表取締役 大田 仁大 小泉 卓也
設立	2003年7月31日
グループ従業員	約350名

## 事業領域



<関連法人>  
 医療法人鴻伸会/社会福祉法人あしかび会/株式会社SMILE/株式会社来夢/キャディー株式会社/  
 イツモスマイルクリニック/株式会社総合ヘルスケアマネジメント/株式会社城南タクシー

- 介護/医療/看護/障がい福祉/保育事業
- 福祉用具・介護関連商品 販売・貸与
- 耐震工事・バリアフリー工事
- 遺品整理・生前整理・特殊清掃  
ハウスクリーニング
- M&A仲介 コンサルティング事業
- デジタル・ソリューション事業

介護、障がい福祉事業の実績を活かし、高齢化社会課題解決へデジタルでアプローチ。高齢者も使いやすいアプリ・システム提供及び受託開発、DXコンサル事業の実績が多々あり、アプリ・システム開発に関しては、アジャイル開発にて顧客からの高い評価をいただいている。

## 「高齢者も取り残さない地域DX」

地域まるごとコミュニケーションアプリ



デジタル田園都市国家構想交付金  
デジタル実装タイプTYPE1 優良モデル

## 「利便性ある地域交通へ」

オンデマンド型公共交通アプリ



「Digi田(デジでん) 甲子園2023」内閣総理大臣賞  
(審査委員会選考校、民間企業・団体部門)

## 「横浜市 市民活動のデジタル化」

ウエル・タウン  
(仮称、実証実験)

**ウエル・タウン** (仮称)  
～横浜コミュニティサイト～

※キャノンビズアテンダ株式会社から受託

## 「地域密着 デジタルよろずや」

デジタルディバイド対策拠点運用  
地場雇用で多様な働き方



## 「防災・減災アプリ」

防災・減災に役立つ4つの機能を搭載。  
地域の避難訓練から活用。



みんなの防災  
※森協教授チームと共同開発

## 「ビデオ通話で緊急コール」

ビデオ通話ナースコールアプリ  
クオリンク



地域の避難状況(逃げ遅れゼロ)や備蓄品管理、防災無線連動、防災計画作成機能あり。



### 逃げ遅れゼロ機能

地域の避難状況を  
一覧管理する機能。  
本人もしくは支援者  
が避難有無を登録。  
地区毎の備蓄品の  
管理機能や、チャッ  
ト機能もあり。

西予市上状況	避難者	避難所
地区数: 4地区	0	2
避難者数: 2名	0	0
避難所数: 2箇所	0	2

### 備蓄品

各家庭の備蓄品を  
管理する機能。写真  
保存機能や期限切  
れに対してのお知ら  
せ機能あり。

### 防災無線

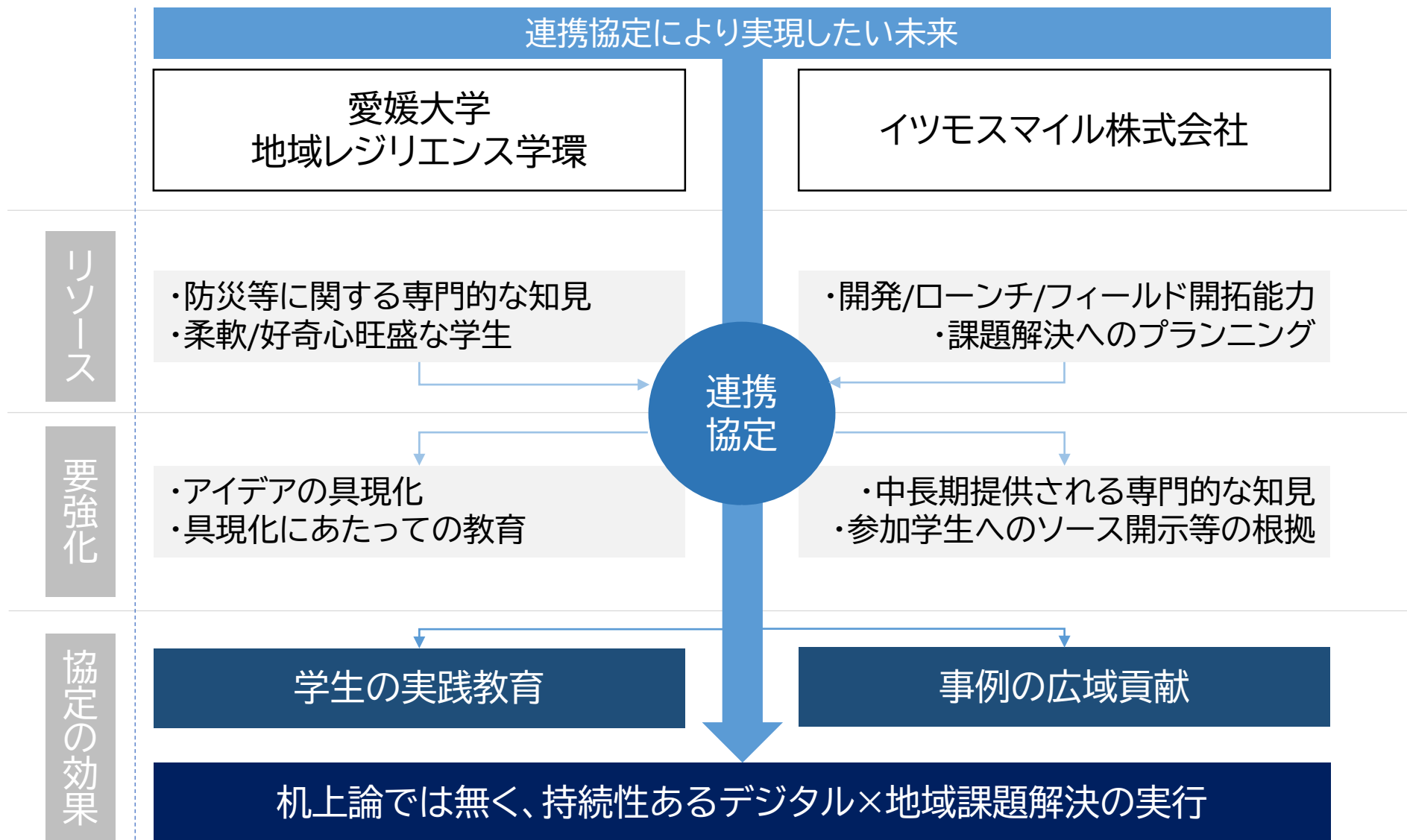
屋外防災無線と連動し、  
放送内容をテキストで確  
認でき、再生できる。過去  
の配信内容も閲覧可能。

### 防災計画

各家庭の災害に応  
じた避難計画作成  
機能。ハ  
ザードマップとも連  
携。

逃げ遅れゼロ機能の完了ボタン押下時のGPS取得に関しては、調整中。  
QRやマイナカードでの避難所チェックイン機能、要配慮者のパーソナルケア情報の共有機能等、実装予定。

協定では双方のリソースを提供することで地域課題解決に寄与することを目的とする。



①防災・減災に向けた地域課題解決への取り組み

「みんなの防災アプリ」

- ・構築サポート学生へのソースコードの開示とレクチャー
- ・機能拡張

他地域展開

防災/減災コンテンツ構築時の協同構築

②データ連携基盤

災害時等の要配慮者情報連携に向けた機能開発

③その他、都度相談の上で遂行